

南会津・黒谷川源流部合宿

増田 寿代

■山行年月日:2020年

7月23日～25日

■メンバー:CL佐藤利伊、斎藤憲一、窪田道男、大竹幹衛、大竹尚子、佐藤敏二、佐藤澄江、榮利文、石川貴大(24～25日)、増田寿代(わらじの仲間)

■コースタイム

23日 安越又川林道駐車場8:10～道行沢出合 10:05～鞍部 14:00～黒谷川下梯子沢下降～1043 二俣 BC15:50

24日

日帰りルート①BC7:00～モチツボ沢左俣～西実入沢下降～BC15:00

L斎藤憲一、増田寿代

日帰りルート②BC7:00～黒谷川本流～西実入・東実入分岐～BC14:00

L佐藤利伊、佐藤敏二、佐藤利伊

日帰りルート③BC7:30～上梯子沢中間部 11:00ピストン～BC13:00

L大竹幹衛、窪田道男、大竹尚子

25日 BC6:40～鞍部 10:40～安越又川 14:00～駐車場 15:30

先月の裸沢山の時に、尚子さんと、会報交換しましょうという話になった。

(いままで長いお付き合いがあったようですが、会報交換はしていなかったのですね。)早速お送りいただいた7月の『おたより』を拝見すると、楽しそうな山行報告が沢山！そして計画も……。黒谷の合宿、面白そう！四連休、わらじでは予定が合う人がいなくて浮いてい

るから、会津山岳会に聞いてみても良いかしら？と聞いたら、いいんじゃない？とのこと。またも凶々しく、もしよろしければ参加させていただけないでしょうか・・・と尚子さんに申し出てみたところ、参加OK！例会で話してみる、との嬉しいお返事でした。久しぶりの安越又に黒谷！とても楽しみだ。

7月23日(木) 曇り

朝7時に小立岩に集合なので、余裕をみて朝3時過ぎに家を出る。新4号はガラガラで高速並み。東北道も空いていたし、あっという間に南会津に到着。早く着きすぎたので道の駅番屋で一休み。朝ごはんを食べてから小立岩まで移動し、車を停めて身支度。尚子さん達は少々遅れるとのことだったので、車内でうたた寝をしていたらコンコンと窓を叩く音。敏二さんでした。榮さんも敏二さんも裸沢山で一緒させていただいたので、またお会いできて嬉しい。そして敏二さんの奥様の澄江さん、ホーさん(佐藤利伊さん)、ケンちゃん(斎藤憲一さん)と道男さんは初めまして！幹衛さんはお久しぶりです。尚子さんにもまたお会いできて嬉しいです。皆さんに自己紹介していただいたので、自分の頭の中でお顔とお名前を復習しつつ8時過ぎに歩き出す。

安越又は昔何度か来た事はあるが、当時の林道跡はとても古くて、このまま自

然に帰っていくのだろうと思っていた。
しかし 2011 年の豪雨の後からだろうか、林道は新しく作られて、どんどん奥に伸びているらしい。何のための林道か分からないが、ありがたく使わせていただく。



皆で出発

林道歩きは暑い・・・！途中で休憩しつつ進み、林道終点から安越又川に降りる。沢は涼しくて気持ちが良い。明日、単独でやってくる若者のために、赤布を付けて道行沢に入る。小さい沢だが小滝が続き快適に登っていける。道男さんを先頭にどんどん進んでいたら、後ろが来ない！ということで休憩。なかなか来ないので何かあったかな？と思っていたら、澄江さんの足が攀ってしまったとのこと。ここからは離れないように、みんな一緒に進んで行くことにする。お昼休憩ではみんなしっかりお昼ご飯を食べている。お菓子系なのはやっぱり私だけです。幹衛さんはカツ丼ですよ。凄いなあ。

稜線の乗越しはなるべくラクに行きたい。1467 と 1447 の間の広い鞍部の一番低い所に出るには？最後は三俣になってその真ん中の沢を行くと予想して

いたけれど、明瞭な三俣でもなく、二俣が現れた。気分的にはまっすぐ進みたくなるのだが、方角を確かめると北に行ってしまうそうなので、ホントに？と思いつつ赤布をつけて左の沢に入る。入るなり急に階段状になって、ぐんぐん高度を上げていく。最後のルンゼは結構な斜度で両側の枝を掴みつつなんとか登る。藪っぽくなるものの沢型が続き水はなかなか涸れない。やがて平らなブナの森。なかなか良いポイントに出たのでは？まっすぐそのまま進めば下梯子沢のはず。ただいま 14 時。立派なブナの森を下っていく。沢の途中のフキ畑で休憩。ここからは先に行ってベースの準備をすることになる。二俣には 16 時すこし前に到着。あたりを偵察し、上梯子沢側の右岸をベースに決める。

とりあえず何をしたら良いのか勝手が分からないのでひたすら薪集めやら刈り払いなどをする。そうこうしているうちに後続のパーティーが二俣から上がってきた。良かった。全員集合！大きなブルーシートもテント二張りも設営されて行く。焚き火を付けるのは苦手なので斉藤さんに丸投げ。慌ただしい中でもいつの間にか食料を調達してくるホーさんと幹衛さん。

会津山岳会では焚き火で調理はしない。コップェルとバーナーだ。コップェルの中から出てきた可愛いやかんが結構活躍している。9 人分の夕食となると結構な量！切った茄子とピーマンです。でに凄い量だ。ポテトサラダは粉末のマッシュポテトにからしマヨネーズで味付け。粉ミルクを少々。からしマヨネー

ズ良いですね。今度、真似しよう！味噌漬けのお肉とお野菜の炒めものが今日のメイン。お味噌汁もあってフルコース状態です。沢山の食器が並んで、なんだか賑やかで楽しい。

美味しい夕食の後は、合唱タイム。会津山岳会の方々は歌がお好きなのですね。わらじでは歌聞いたことないですねえ。浪漫は歌集があったっけ。懐かしい。

7月24日 晴れ後夕方から雨

テントの中は結構暑かった。起きたら蚊が沢山居てビックリした。刺されてはいなかったけれど。

朝食はお茶漬け。焼き鮭とたらこが載っている。今日は良いお天気になりそう。みんな各々行きたい所に行くので、私はどうしようかなと考えていたら、榮さんが、『増田さんはまだ若いんだから、一番若いジ様と行ってきなさい。』とおっしゃった。一番若いジ様は斎藤さんでした。モチツボ沢から西実入に降りるルートで、ちょうど一番登る（行動する）ルートが良いと思っていたので、それは良いかも！斎藤さんをお願いしてみたら、気まぐれだけどね～とおっしゃりつつも承諾いただきました。

澄江さんにテントキーパーをお願いし、尚子さんと幹衛さんと道男さんは上梯子沢へ。ホーさんと榮さんと敏二さんは東実入に生態系調査。（←当日まで本気で調査だと思ってました・・・(-_-;)。）

我々モチツボ沢Pは最初に出発。行ってきます！ただいま7時。梯子沢を下っていく。しばらくは森の中の平らな流れ。途中で休憩していたら、生態系調査

Pが追いついてきた。先に出発して、また黒谷の本流出合で一緒に休憩。調査Pのみなさんはとても楽しそうに準備している。それにしてもこの辺りの荒れ方は凄い。ブナの森がごっそり削られてし



黒谷本流との出合にて

まっているみたい。広い河原に立ち枯れの巨木がいくつもあって、なんだか不思議な風景だ。昔見たはずの風景は思い出せないけれど・・・。

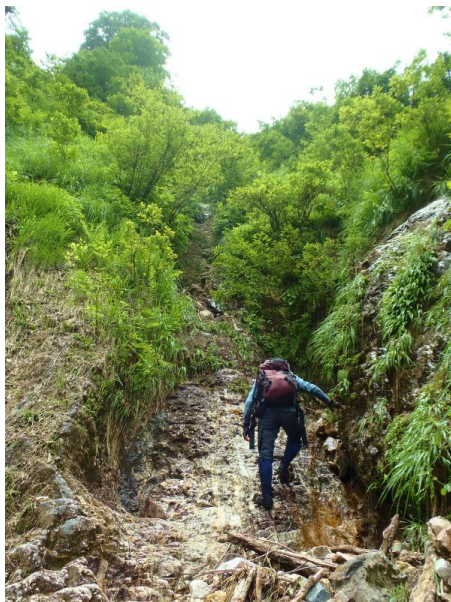
生態系調査Pとはここでお別れ。大きな石がゴロゴロしている広い河原を下っていくと、すぐにモチツボ沢出合だ。すごく小さい・・・。水がすぐそこで涸れるんじゃないかと思うほどの水量。しばらくは森の中の平らな小川を歩いて行く。平らなので水の音がほとんどしない静かな森。どこでも泊まれそう。こんな静かな森に泊まったら、下界に帰ることを忘れてしまいそうな気がする。

森を抜けるとだんだん沢らしくなってきた。水量が増えてきた。森の中では水がしみ込んで水流が少なかったのだろう。これならこちらでも生態系調査できそう。いいお天気だし、良いポイントで調査開始！私も道具を準備してきて良かった。家の庭でミミズを取れなかった

ので、現地調達しようかと思っていたけれど、斎藤さんのエサをいただく。（ありがとうございます。）早速、斎藤さんが一匹ゲット。居ますね！私も、と適当に出したらとっても浅いところに針が・・・と思ったら速攻で掛かりました。いや～嬉しい！！久々のこの感じ。楽しいですね！しばし楽しんだ後、真面目にルートをこなすことを考える。奥の二俣を左に。右は滝をかけている。この先滝がでてくるかな？と思ったけれど平凡な流れで、順調に高度を上げていく。そして最後はスラブ状でずっと上まで詰めあげているのが見える。取り付いてみればホールドスタンス豊富で、ぐんぐん高度を上げられる。でも、途中でちょっと草付きっぽくなり滑りそうだ。灌木も掴めない。ここで落ちたらスラブ状の振り出しに戻ってしまいそうなので、私は藪に逃げる。しかし藪の中もぬかるんでいて滑る滑る！藪にぶら下がってしまいチョットきつかった。なんとか藪の中を登り、ルンゼに戻る。だいぶ登ってきた。振り返ればあたり一面山だらけ。山深いなあ。南会津のこんな山深くにいるなんて幸せなことだ。最後の藪をほんの少し登れば平らな稜線。西実沢左岸の支流に向かって降りて行く。途中、カモシカが逃げていくが、すぐ先で振り向いて我々をジッと見ている。ドロドロの沢を下っていくと沢水も泥水色になっていく。はやく綺麗な水に出たい……。30分ほど黙々と下れば西実入沢だ！綺麗な水で顔を洗ってさっぱりする。

西実入の白く濁る優しい流れを下っ

ていく。東実入とスギゾネ沢を過ぎれば梯子沢出合。ここで一周。梯子沢に戻って15時に皆さんの待つベースに到着。ただいま帰りました。斎藤さん、ありがとうございました。とても楽しかったです。



モチツボ沢の詰め

今日は若者（石川さん）が来ていた。鞍部から我々とは違い上梯子沢の支流を降りてきたらしい。今日、尚子さん達が行った上梯子沢本流は、なかなか立派な20m滝でロープを出し、帰りは懸垂したらしい。生態系調査Pは本流でそれはもうとても楽しんできたらしい。榮さんが3匹見つける間にホーさんは20匹見つけたと言う……。凄いですね。ちょっとみて見たかったな。

なんだかんだと焚き火の脇でおしゃべりをしていたら、雨が降ってきた。これはやみそうにない降り方だ。残念だがブルーシートの下に避難。今日はろくにお手伝いもしないまま、夕食の時間。今

夜はちらし寿司、高野豆腐と幹衛さん製の干し大根や油揚げとミズなど具沢山の煮物、ものすごいダシを感じるサバ缶とミズのおつゆ、ミズの煮物など……。今日も昨日以上にフルコース状態です。生態系調査Pのお土産もどっさり。自分のお土産は澄江さんに三枚に下ろしてもらって揚げてみました。どれも美味しくお腹いっぱい。ご馳走様でした！

雨の中でも、今宵も歌声が黒谷の森に響き、色々な『ここだけの話』を聞いたりして、楽しいひと時が過ぎていく。もっとお酒担いでくれば良かったな。明日帰るのもったいないな。

7月25日 雨後曇り時々雨

名残惜しいけれど今日は帰らなくては。朝ごはんをさっと済ませ、テキパキと撤収していく。準備体操後、6時40分、総勢10名で出発。

無理のないように、こまめに休憩を取る。途中雨が本降りになったけれどすぐに止んだ。立派なブナの森を堪能しつつゆっくり登っていく。稜線は昨日の赤布よりちょっと上に出ってしまったけれど、無事見つけられて良かった。あとは下るだけ。急だけれど、ロープは出さずに慎重に下っていく。道行沢の下の方で懸垂。男性陣はほとんど巻いて下っていった。一昨日登ったはずだけど、こんなところありましたっけ？全然覚えてない……。

安越又には14時に到着。だいぶ時間がかかってしまったけれど、転んでケガでもしたら大変ですからね。『ゆっくりでいいから美しく。』かの池田さんの言葉です。（←私の昔の山の仲間です。）

帰りの林道の長いこと。行きよりずっと長く感じる。先に行く道男さんとホーさんが早いなと思っていたら、車で後ろのみんなを迎えに行くためだったのでした。優しいなあ。

車に到着したら、また雨が降ってきた。若者は只見にお住まい（山行き放題ですね。羨ましい。）なのでここでお別れ。9名は窓明の湯でさっぱりしてから帰路に就いたのでした。皆様には今回も大変お世話になりました。とても楽しい合宿でした。ありがとうございました。



ベースでのんびり